



株式会社エフアンドエム

RIETI政策シンポジウム

「変わる融資慣行、試される現場力 – 経営者保証に依存しない
融資慣行の確立に向けて」

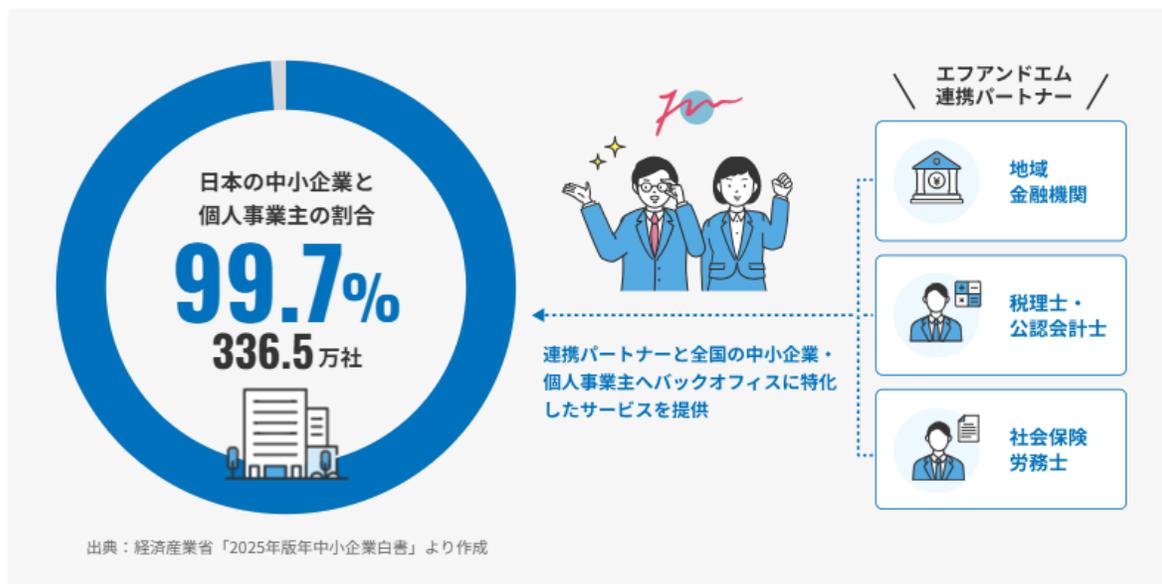
経営サポート事業本部
企業支援グループ

関係者限り

会社概要

関わる全ての人と企業に豊かさを

価値あるサービスをリーズナブルな価格で、すべての中小企業・個人事業主に提供していきたい
という思いからサービスの水道哲学を企業哲学としています。



会社名	株式会社エフアンドエム（英文名：F&M CO.,LTD.）	
証券コード	4771	
上場証券取引所	東証スタンダード	
代表者	代表取締役社長 森中一郎	
設立	1990年（平成2年）	
資本金	9億8,965万円（2025年3月末現在）	
連結売上高	170億6,637万円（2025年3月期・連結）	
事業内容	個人事業主及び小規模企業向け会計サービス 中堅中小企業向け管理部門支援サービス（エフアンドエムクラブ） 中堅中小企業向け財務・補助金支援サービス 会計事務所向け支援サービス （経営革新等支援機関推進協議会/TaxHouse） 社会保険労務士事務所向け支援サービス（SR STATION） ISO・Pマーク認証取得支援サービス パソコン教室 アラカルト型人事労務クラウドソフト（オフィスステーション） 経営革新等支援機関関連業務 講師派遣型研修サービス	
事業所	・大阪本社 > ・東京本社 > ・名古屋支社 > ・福岡支社 > ・仙台支社 > ・札幌支社 > ・沖縄支社 >	
従業員数	931名（2025年3月末現在・連結）	
平均年齢	37.7歳（2025年3月末現在）	
法人番号	9120901005589	
適格請求書発行事業者登録番号	T9120901005589	
グループ会社	エフアンドエムネット株式会社	

エフアンドエムクラブ（バックオフィスコンサル）

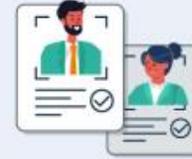
資金繰りの
改善をしたい



適切な労働管理
をしたい



採用を
すすめたい



社員教育を
充実させたい



助成金を
使いたい



補助金を活用
したい



優遇税制など
最新情報を
知りたい



ペーパーレスや
ISOなどの対応



入会金 **無料** 月会費 **30,000**円(税抜)

※まかせて規程管理2,000円(税抜)を含みます。

全 **30** 中小企業の生産性を向上させるための
種のサービスが使い放題！

会員企業数 約 **14,000**社

税理士業界への取組み



■ 経営革新等支援機関推進協議会（2015年発足）

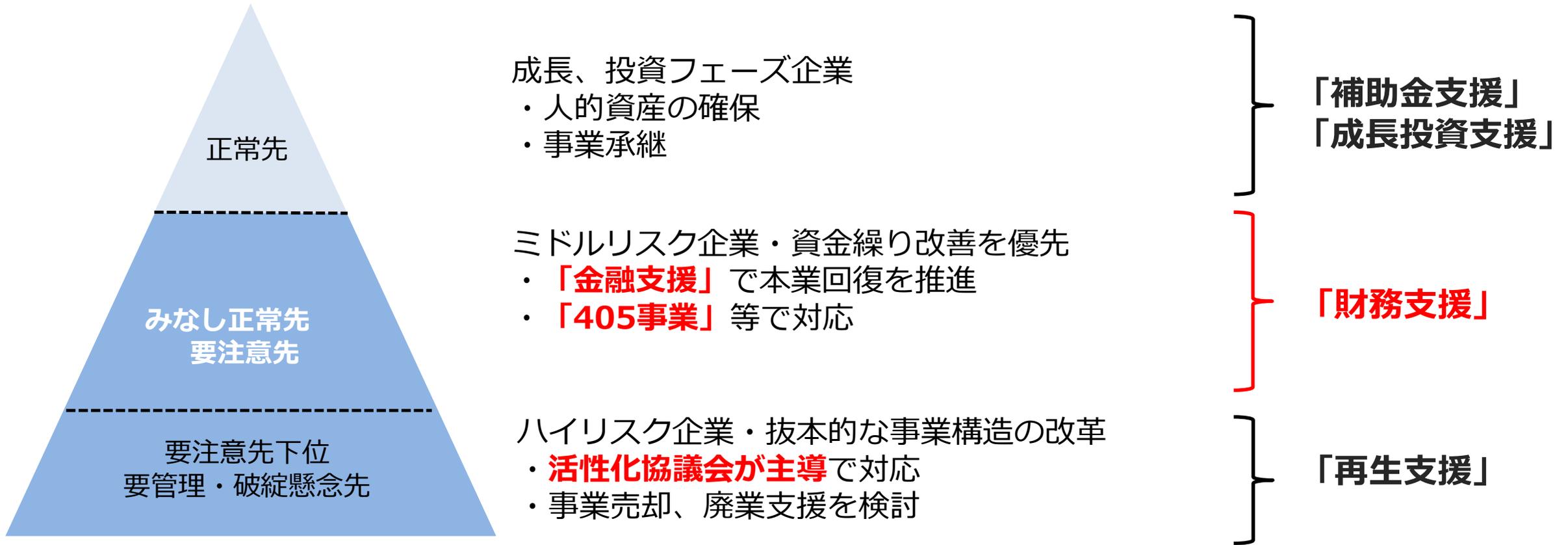
- 知識習得サポート
（定例研修やアカデミー/オンライン学校）
- 実務支援サポート
（補助金申請支援や優遇税制支援のツール提供）
- 財務コンサルティングサポート
（財務支援システム/格付診断機能、計画策定機能）

■ その他

- AI研究会（2024年12月発足/210事務所）
（プロンプト講座など業務生産性向上研修）
- GrowthMAP
（事務所従業員向け階層別研修/ヒューマンスキル）
- 各事務所への個別コンサルティング等

全国で **1,732** の会計事務所様にご参加いただいております

エフアンドエム財務支援



「財務支援」 = ファイナンスの力で
「収益改善」の時間を確保

- 1. 経営者保証に依存しない融資慣行のメリット（F&M支援事例報告）**
- 2. エフアンドエムクラブ会員企業「経営者保証アンケート」より**
～金融機関に対する要望と経営者自身の課題について～

事業者・金融機関双方のメリット



事業者のメリット

- 経営者個人のリスク軽減
- 企業価値の向上
- **新しいチャレンジが可能**
- 事業再生と再チャレンジが可能
- **事業承継の円滑化**
- **精神的な安定**



金融機関のメリット

- **経営者との信頼関係の構築**
- 企業格付の向上
- **企業の成長支援による取引拡大**
- 事業再生と再チャレンジ支援が可能
- **事業承継、M&A支援が可能**
- ガイドライン遵守による評価向上

事例① 事業承継の円滑化

創業 年商 メインバンク	20年超 1億円超～3億円以下 信用金庫	業種 従業員 債務償還年数	リフォーム工事業 10人超～30人以下 12.5年
--------------------	----------------------------	---------------------	---------------------------------

- ・ 取組みの背景
 - 次期後継予定の長男が役員に就任、事業承継を見据えて経営者保証を解除したい
 - 債務超過の脱却を目指し資本性劣後ローンを検討
 - エフアンドエムと経営改善計画策定に取り組むことになった

項目	現状	ポイント	解決策
法人・個人の資産分離	×	・ 短期貸付金（従業員）	・ 実質回収可能額を元に財務DDを実施
財務基盤の強化	△	・ 債務超過 ・ 債務償還年数15年以内	・ 資本性劣後ローンの活用 ・ キャッシュフローに沿ったリファイナンスを検討
経営の透明性確保	◎	・ 適切な会計処理 ・ 金融機関と良好な関係	・ 経営改善計画を金融機関へ提出 ・ リファイナンス実行時に経営者保証を解除

- ・ 経営者の声
 - 債務超過から脱却の目安ができ、3年後に事業承継を心置きなくおこなうことができる
 - メイン金融機関と認定支援機関の支援が心強かった

事例② 精神的な安定（新しいチャレンジ）

創業 年商 メインバンク	20年超 5億超～10億円以下 地方銀行	業種 従業員 債務償還年数	サービス業（ITシステム） 50人超～100人以下 7.3年
--------------------	----------------------------	---------------------	--------------------------------------

- ・ 取組みの背景
 - 前代表が急逝のため現代表者が自宅を担保として提供
 - 社内に後継予定者がいないためM&Aを検討していた
 - 信用保証協会から提案があり、エフアンドエムと経営改善計画策定を取り組むことになった

項目	現状	ポイント	解決策
法人・個人の資産分離	○	・ 短期貸付金（関連会社）	・ 直近決算にて清算し特別損失として計上
財務基盤の強化	◎	・ 債務償還年数10年以内 ・ 運転資金の検討	・ リファイナンスにて返済金額を抑制 ・ 運転資金は当座貸越を活用
経営の透明性確保	◎	・ 適切な会計処理 ・ 各部門毎に事業計画策定	・ 経営改善計画を金融機関へ提出 ・ リファイナンス実行時に経営者保証を解除

- ・ 経営者の声
 - ようやく自宅の担保設定を解除できたことで家族を安心させることができた
 - 今後はM&Aも視野に入れながら新規採用をおこない事業拡大を目指したい

まとめ

- 「財務基盤」を向上させるという「目標」ができる
- 「目標」を金融機関と共有することで「信頼」が生まれる
- 「経営者保証」解除には一定期間が必要（概ね3年）



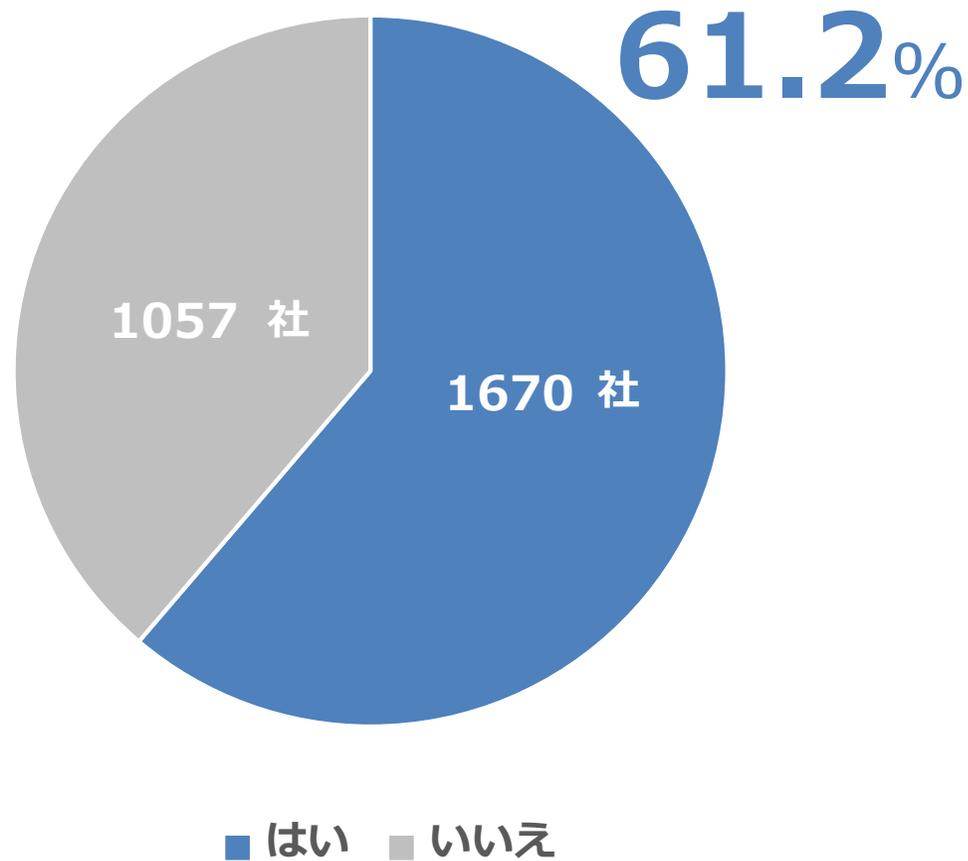
中長期的な支援事業者による伴走支援が必要

エフアンドエム発表

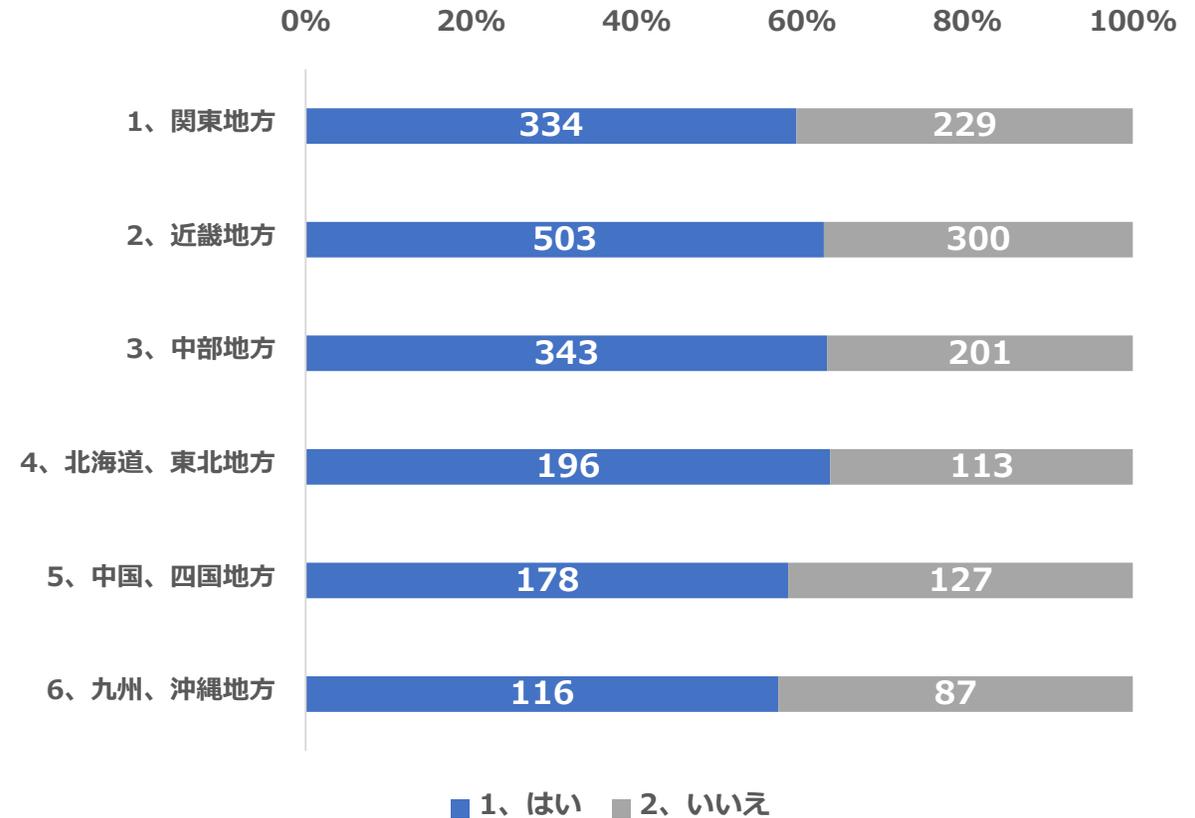
1. 経営者保証依存しない融資慣行のメリット（F&M支援事例発表）
2. エフアンドエムクラブ会員企業「経営者保証アンケート」より
～金融機関に対する要望と経営者自身の課題について～

エフアンドエムクラブアンケート①

Q1 自社の経営者保証について把握していますか？



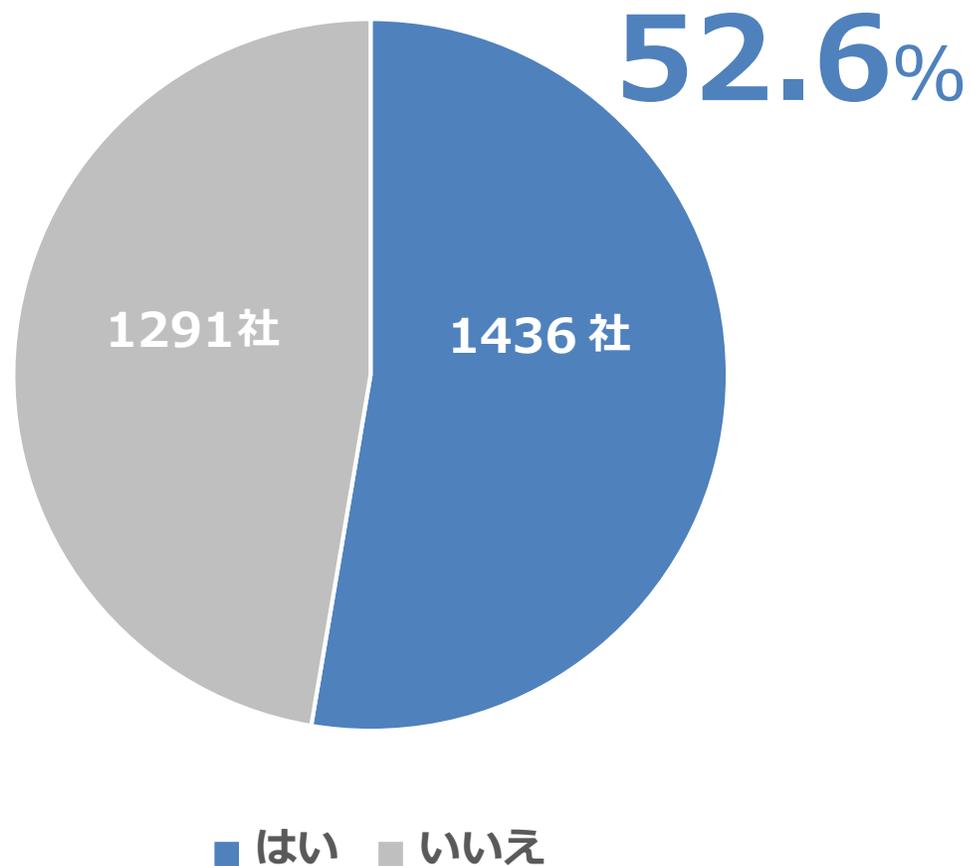
エリア別集計結果



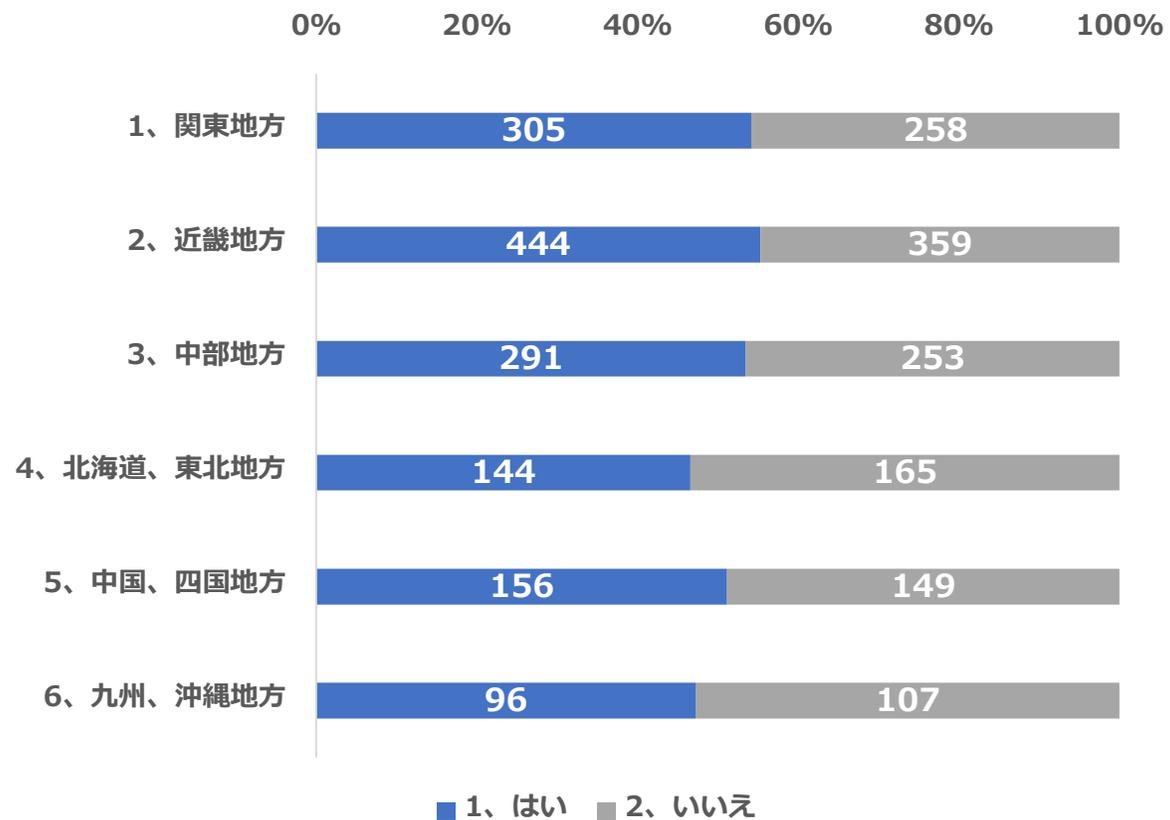
※エフアンドエムクラブ経営者アンケートより（2,727社回答）
※実施期間 2025年4月1日～4月30日

エフアンドエムクラブアンケート②

Q2 経営者保証を解除したいですか？



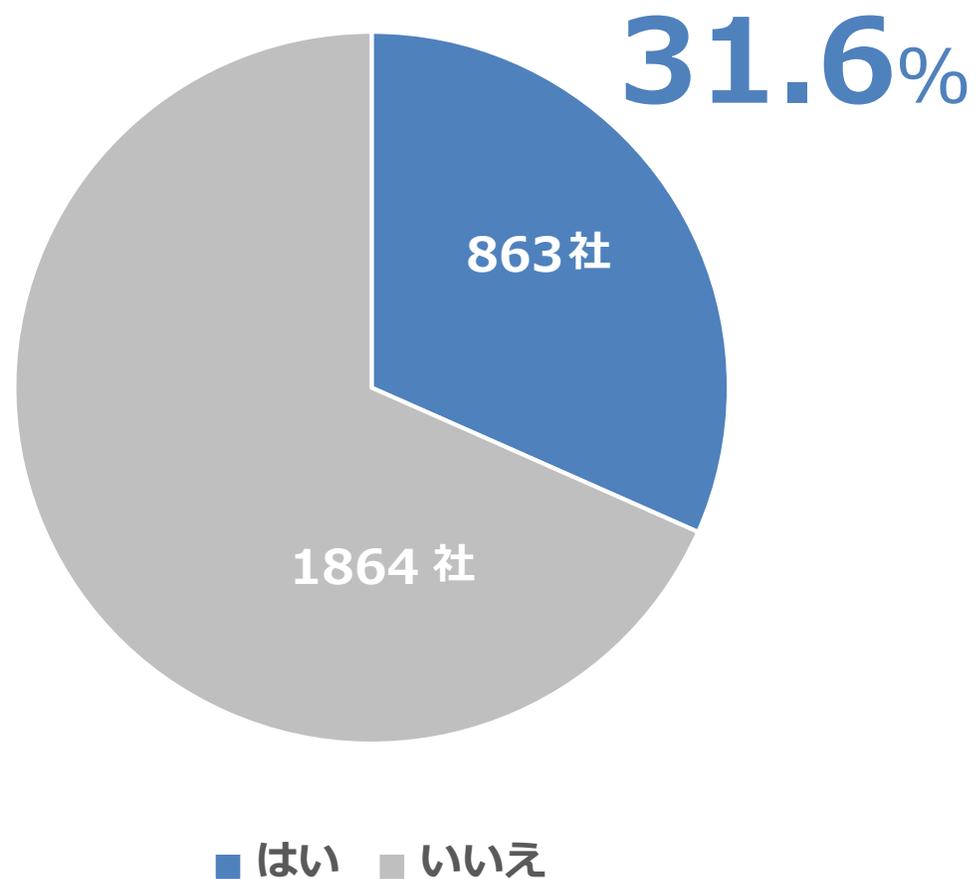
エリア別集計結果



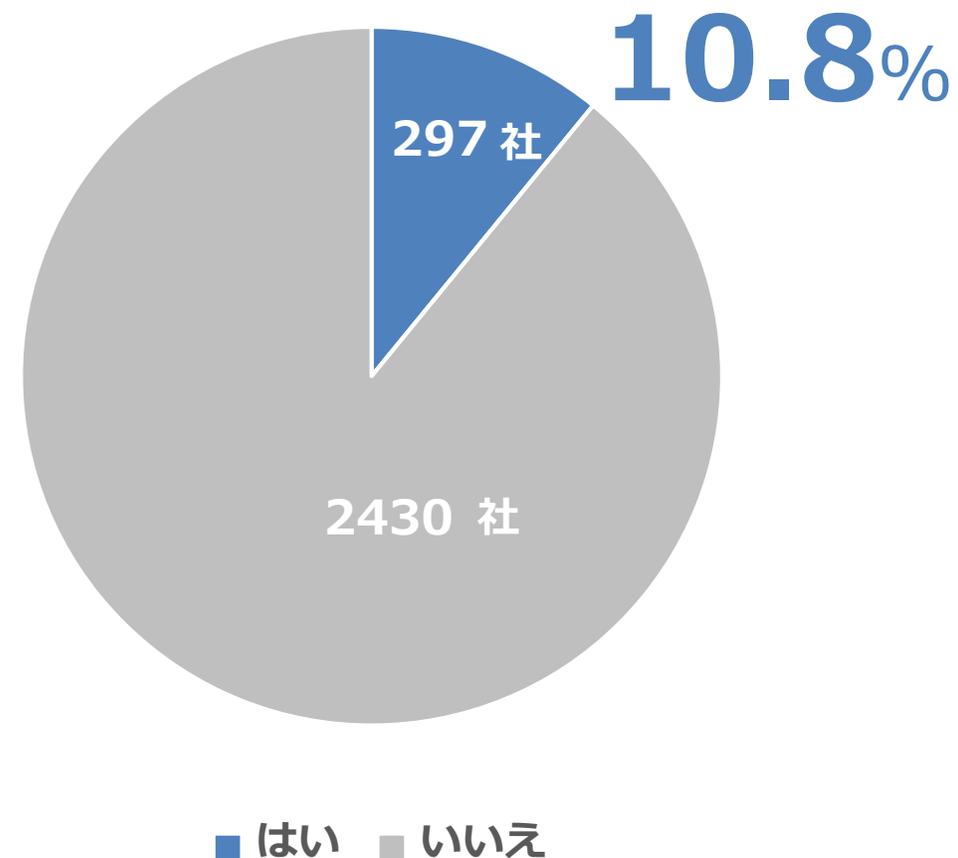
※エフアンドエムクラブ経営者アンケートより (2,727社回答)
※実施期間 2025年4月1日~4月30日

エフアンドエムクラブアンケート③

Q3 メインバンクへ相談しましたか？



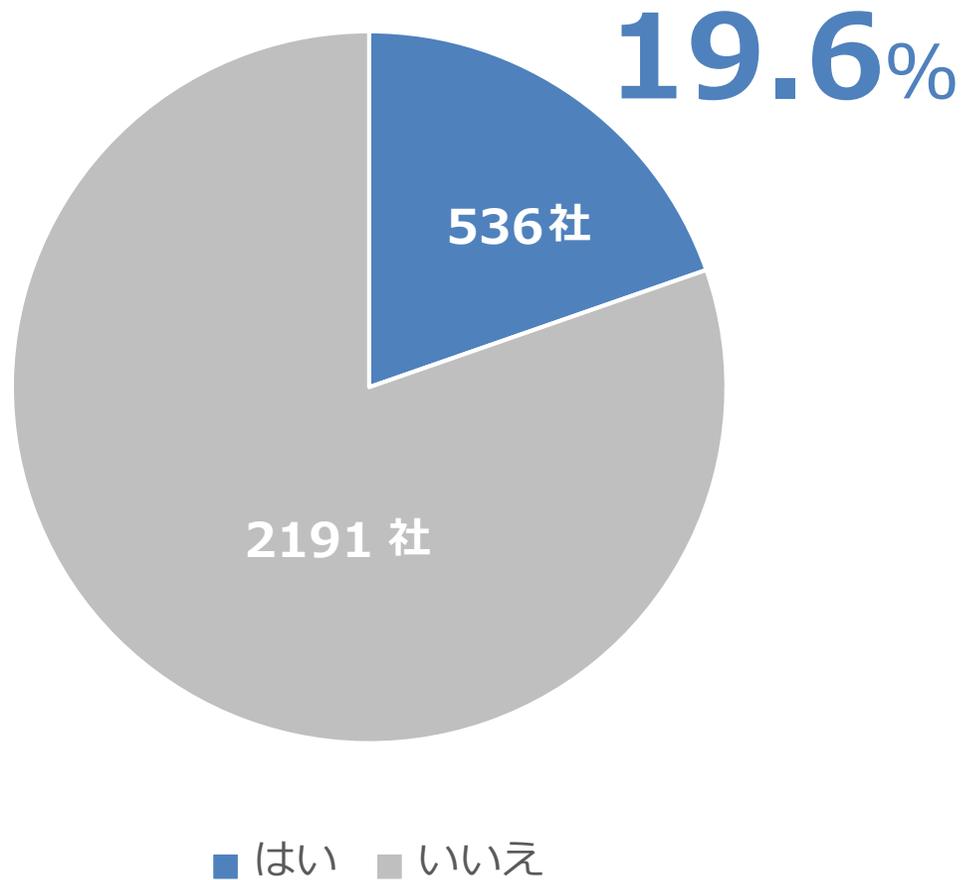
Q4 金融機関以外の相談先はありますか？



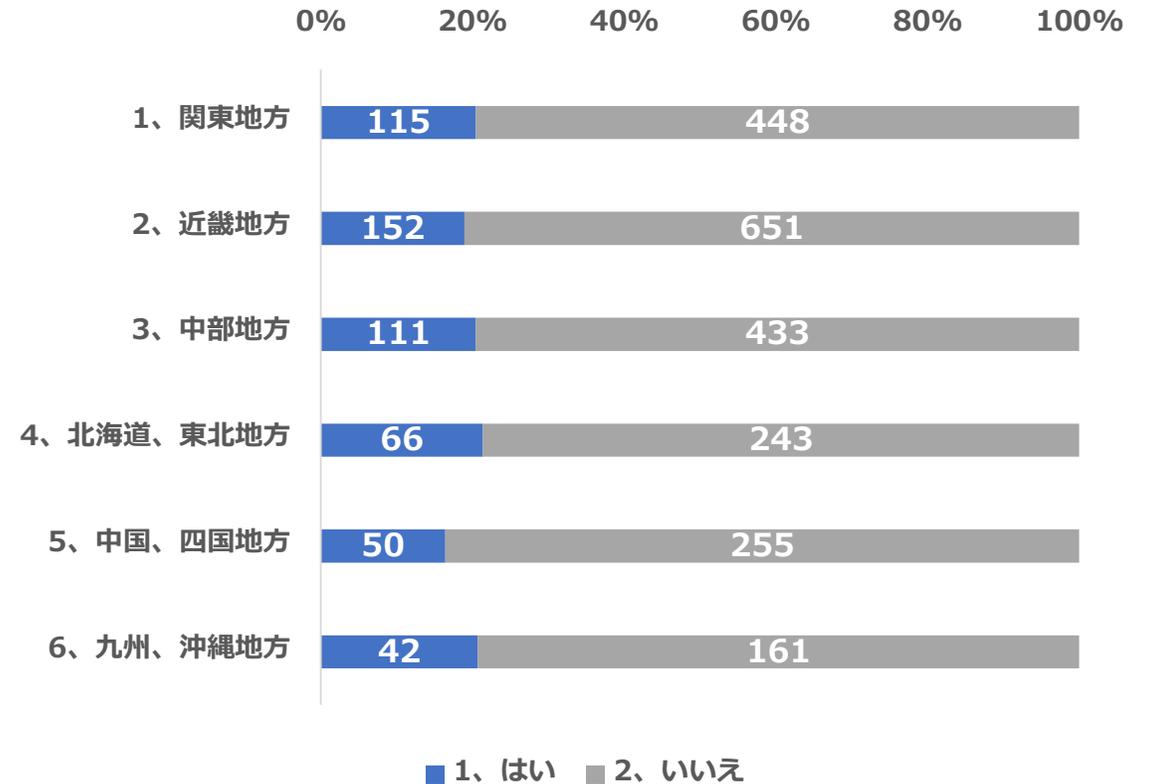
※エフアンドエムクラブ経営者アンケートより（2,727社回答）

エフアンドエムクラブアンケート④

Q5 経営者保証ガイドラインをご存じですか？



エリア別集計結果



※エフアンドエムクラブ経営者アンケートより (2,727社回答)
※実施期間 2025年4月1日~4月30日

事例③ コミュニケーション不足

創業 年商 メインバンク	20年超 5億超～10億円以下 信用金庫	業種 従業員 債務償還年数	通信機器販売業 30人超～50人以下 14.6年
--------------------	----------------------------	---------------------	--------------------------------

・ 取組みの背景

業績が回復しているため経営者保証解除をメイン金融機関へ打診
メインからの回答待ちの間に新規金融機関が全面的な肩代わりを打診
実行寸前でメイン金融機関が経営者保証解除の対応をおこなった

項目	現状	ポイント	問題点
法人・個人の資産分離	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短期貸付金（関連会社） ・ 役員報酬と交際費の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連会社の貸付金回収予定が不明瞭 ・ 役員報酬がコロナ融資後に増加
財務基盤の強化	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 債務償還年数15年以内 ・ 金融機関への借入が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リファイナンスにて返済金額は抑制済み ・ 現預金残高は月商の3倍近く保有している
経営の透明性確保	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試算表は毎月作成 ・ 毎月試算表を金融機関へ提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 懇意にしていたメインの支店長が異動していた ・ 担当者との関係性が希薄であった

・ エフアンドエム所感

経営者に全く問題がなかった訳ではないと感じている
メイン金融機関が「経営者保証を解除しにくい」理由を明確にするべきであった

事業者支援者視点からの課題



事業者の課題

- 法人と個人の資産分離が不十分
- **財務体質が不健全**
- 事業計画が明確でない
- **金融機関への情報提示が不十分**
- **ガイドライン認知度不足**
- **適切な会計処理**
- **経営者保証解除への意識や決意が不足**



金融機関の課題

- **法人単独での信用評価の難しさ**
- リスク管理の適正化
- **事業性評価の難しさ**
- 決算書や情報開示の適切性確認の負担
- **ガイドライン理解の浸透不足**
- 手続きや審査の煩雑化
- **保証解除後の企業のフォロー体制が必要**

まとめ

- 「**経営者保証ガイドライン**」の認知度向上が急務
- 「**経営者**」「**金融機関**」「**認定支援機関**」との連携が必要



経営者が「**経営者保証**」を解除する「**決意**」が重要

お問い合わせ先

**ご不明な点などございましたら、
お気軽にお問い合わせください。**

株式会社エフアンドエム

経営サポート事業本部・企業支援グループ

TEL : 06-6339-4051 FAX : 06-6339-9057

Email(お問合せ先) : info-keiei@fmltd.co.jp

営業時間 : 月～金 (土・日・祝日除く) 9:00～17:00